

「挑戦を楽しむ」研究職として成長を続けたい

こう けつ
黄 潔 さん

工学部
総合科学技術研究科工学専攻
創造科学技術大学院 自然科学系教育部
環境・エネルギーシステム専攻
(2019年3月卒)

三菱重工業株式会社(研究職)勤務

1988年生まれ、中国国内の高等学校卒
趣味は料理、ボクシング、登山。
好きな言葉は「解決方法はいつも困難より多い」。

モノづくりのまち・浜松にある工学部へ

工学部が位置する浜松市には有名なモノづくり企業が多く、インターンシップや産学連携の機会が豊富で、将来のキャリアに役立つと考えました。私は、静岡市内の日本語学校で学んでいたため、静大の情報も入りやすく、地域に慣れ親しんでいたことも静岡大学を選んだ理由の1つです。

学会経験などを重ね、
中国人留学生学友会長も務めて

大学時代、多くの海外会議や国内学会に参加して発表や論文作成したことが、入社後の分かりやすい資料作成や効果的な社外向け発表につながっています。今夕な仕事にも柔軟に対応できるのは、先生の厳しくも温かい指導で、プレッシャーのある状況下でも前向きに取り組む力が養われたおかげです。

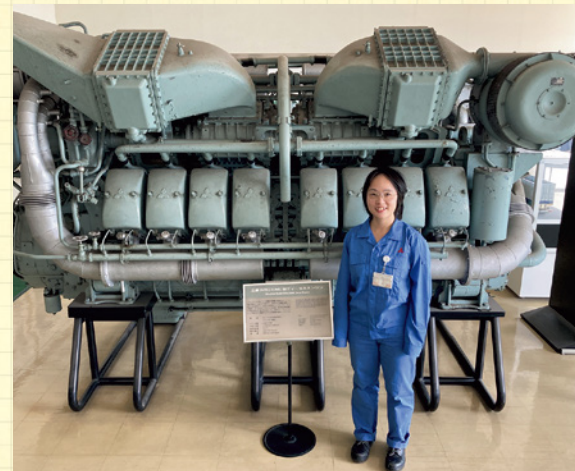


ボクシング、おもしろいです

大学の中国人留学生学友会長を務め、大使館への予算申請やイベントのアレンジをして、意見をまとめ、スムーズに実行する力も向上しました。この経験で得たコミュニケーション能力も、仕事に大いに役立っています。

車用ターボチャージャーの
騒音対策などに取り組む

現在、車用ターボチャージャーの振動と騒音の対策に取り組んでいます。500以上の製品を扱っており、一つの製品に縛られず、さまざまな製品に触れられる点が魅力です。研究職になってよかったのは、技術や未知のことを追求する優秀な研究者たちと共に成長できることです。彼らの熱意に刺激され、



職場で、ディーゼルエンジンと一緒に

自分自身も常に学び続けています。仕事のやりがいを感じるのは、研究結果が他者から感謝された時や、長年の課題を解決した時です。そうした瞬間に、自分の努力が実を結び、社会に貢献できていることを実感します。

学生の皆さん、思い切り挑戦しましょう！

静大に入学して、面倒見の良い先生や優秀な学生に多く出会うことができました。加えて、失敗を恐れず、頑張る学生が多いことも魅力だと思います。私は、そういった先生や学生のいる、自由な挑戦の風土の中で、思い切り試行錯誤できたおかげで、実践的なスキルと独立した思考力を培うことができ、大きく成長しました。学生みなさん、挑戦を楽しんでください！

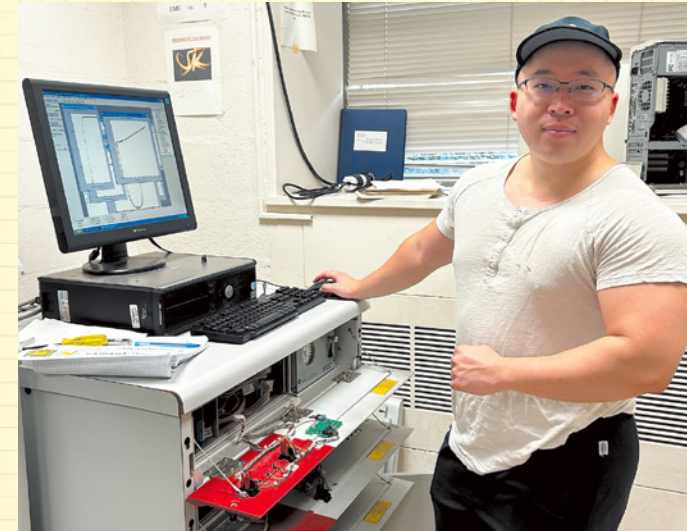


趣味の登山も楽しんでいます



黄さんが学んだ工学部、総合科学技術研究科工学専攻、自然科学系教育部について、くわしくはこちらから(左から順に) →

世界を見て学ぼう！多様な人との交流で深める研究

よし むら こう た
吉村 恒太 さん

理学部
物理学科
(2021年3月卒)

ノートルダム大学(アメリカ)
物理学専攻
博士課程学生

1998年生まれ、愛知県立豊田高等学校卒
趣味は筋トレ、釣り、パズル、熱帯魚観賞。
好きな言葉は「遊ば」。

高校時代の留学を経て、静大へ

高校生のとき、サウナと寒中水泳に興味を持ち、フィンランドに1年間留学しました。この経験で、日本がいかに恵まれているかを実感するとともに、他の国も見てみたいという思いも芽生えました。進路を考える中で、静岡大学の理学部・創造理学コースを知り、2年次から専門科目を選べ、また海外研修などもあるところが、私にピッタリだと思いました。



1年前、フィンランドに戻ったときに再会した友人と

物理学の勉強をがんばった学生生活

物理学科では、先生が学生たちの質問に多くの時間を割いてくださったことが印象的です。特に、先生たちが毎回参加する輪読は貴重な時間だったと改めて感じます。英語でのプレゼンテーション授業も多かったため、今もプレゼン資料作成に役立っています。また、2年生のときに、全国の学生が集まって物理学や数学を合宿形式で学ぶ数物セミナーに参加し、物理学の面白さを感じるなど、物理学の勉強をがんばった大学生活でした。

香港の大学での実習を機に、
海外の大学院へ

アメリカの大学院に進むことを決めたのは、在学中の香港科技大学での実習で、現地学生との交流を通して、何かに挑戦し

たいという意識が強くなったのがきっかけです。大学での多くの実験や授業を通じ、物理学への興味も深まり、せっかくなら、世界中の学生が集まるアメリカの大学院に進学し、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流しながら、研究を続けたいと考えるようになりました。

大変だけど喜びも多いアメリカでの
研究の日々

現在は、一日中研究に取り組んでいます。二次元超伝導体の試料作成とそのトランスポート実験を行っており、試料作成は大変ですが、作ったサンプルが超伝導を示したときの喜びは計り知れません。また、世界中の国から来ている人々と出会い、その人たちの文化を体験することで、多くの知識を得られていることは、アメリカに来てよかったことの一つです。



誕生日に友人たちと

世界を見ましょう！
授業では積極的に質問を！

学生の皆さんには、ぜひグローバル研修などを通してもっと海外に留学したり、旅行したりして、世界中の文化を学んでほしいと思います。自分の価値観が大きく変わることは間違いありません。また、アメリカに来て、学生たちの質問の量に驚きました。みなさんも、授業中にどんどん質問して、多くの知識を得てください。



ワシントンでのボディビル大会

吉村さんが学んだ理学部について、くわしくはこちらから →

